

みなさんと力をあわせ声を届け、建設的提案で実現

共産党県議団

子どもの医療費無料化 — 加古川で18歳まで実現

みなさんと力あわせ、県の医療費助成を中学校卒業まで拡充した結果、41市町のうち37市町で通院・入院の無料化が実現。17市町(加古川市含む)は、高校卒業まで医療費無料です。全県で所得制限なしで高校卒業まで医療費無料をめざします。

少人数学級・教育無償化

100回を超える質問で少人数学級を求め、他県に先駆けて小4まで35人学級を実現、中学1年生で35人学級が選択可に。小中高全学年で30人学級をめざします。学校給食費無償化は県議会全会一致で国に要望書を提出、高校授業料完全無償化の実現も強く求めます。

加古川に特別支援学校新設実現

東播地域の県立特別支援学校はいなみ野校と東はりま校がありますが、生徒数が増え、過密になり、保護者や教職員組合、教職員が中心になって1万筆を超える署名を添えてお願いした事も力となって、加古川市に特別支援学校が新設されます。新設校は、平荘小学校の跡地に170人定員2026年4月開校予定です。なお、いなみ野校は改築し増員、東はりま校も増築が予定されています。

高齢者の補聴器購入補助

県議団の提案による意見書採択などを経て、都道府県で全国初の高齢者補聴器の補助が実現、実施されました。単年度ですが、これで終わらず、制度の恒久化と補助額の増額を求めています。

痴漢ゼロへ

県警・鉄道の対策が始まりました

県議団は、昨年の受験シーズン直前に、各鉄道会社や警察に「痴漢は犯罪」というアナウンスや、駅構内、電車内などの見回り強化などを要望。電車内でアナウンスが流され、鉄道警察隊や地域の交番による対策が講じられました。

財源はあります

今年も予算組み替えを提案します

県予算は一般会計だけで約2兆円。わずか1~2%程度を無駄な開発から、住民サービス優先に組み替えるだけで暮らし応援の多くの施策を実施できます。

県の予算を吟味して、建設的な組み替え提案を行っているのは日本共産党議員団だけです。23年連続となる今年も予算の組み替えを提案します。

いま
県政は...

「行革」の名で削った県民のいのち、暮らしを守る制度 大企業には大盤振る舞い、ムダな開発は借金で継続

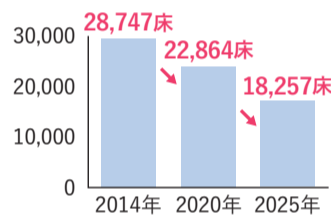


兵庫県はコロナ死亡者(人口当たり)が多い県です。県政が病床削減と保健所つぶしを継続し、医療が脆弱な県にしてみましたからです。

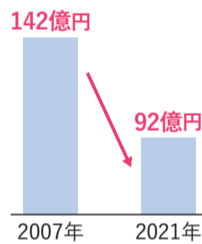
一方で、不要不急のムダな大型開発は借金を重ねても継続。体力がある大企業に上限なしの補助金をつぎこむ大盤振る舞いも続けています。

病院のベッド削減

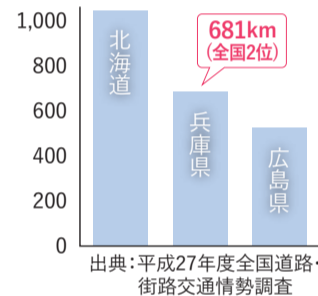
地域医療構想で急性期病床1万490床削減計画
急性期(稼働病床)→すでに5年間で5,883床削減



福祉医療費を大幅に削減



高速道路の延長



保健所を減らした



大企業に大盤振る舞いの企業立地補助金

パナソニックへの補助金
131億円(2005~2017年)

名神湾岸連絡線	3km	1千億円
大阪湾岸道(西部)	14km	5千億円
播磨臨海地域道路	50km	6千億円

なによりいのちと暮らし優先を求めて

共産党県議団

コロナ対策を求めて申し入れ18回 無料PCR検査実施、各種給付金制度を実現

県議団は、兵庫県に18回にわたる新型コロナ対策の申し入れを実施。感染力の強いコロナ対応に必要であった無料検査の拡充、病床確保、保健師の増員などを実現。コロナ禍で暮らしと営業を支援する各種の給付金制度も実現しました。

病床確保と保健所の増設、 保健師の増員を要求



県議団は、県民の命を守ることを最優先に地域医療構想による病床削減を中止し感染病床や急性期病床等を十分確保すること、保健所は人口10万人に1カ所、50カ所に増設することを求め、あわせて、保健師の大幅な増員を求めています。

自民・公明・連合(立憲、国民)・維新が知事提案の予算・議案にすべて賛成し県民犠牲を続けています

議会と行政をチェック 不正と腐敗をただす

共産党県議団

◎ 政務活動費の不正根絶

県議会で領収書添付の政務活動費の公開制度を実現。この共産党提案の公開制度が、元自民党県議や「号泣」元県議などの政務活動費詐欺事件発覚の決め手になりました。

◎ 県の住民サービス切り捨てを明らかに

県「行革」が、大型開発による「借金」のツケを県民にまわして医療、福祉、教育を切り捨て、住民サービスを犠牲にするものだと明らかにし、反対してきたのは日本共産党だけです。



◎ 清潔な党だから

政党助成金、企業・団体献金を受け取らない清潔な党として今後も不正、腐敗の根絶へ努力します。

◎ 旧統一協会との癒着をただす

県議会の自民党会派に所属する9人の議員が旧統一協会と関係を持っていました。

旧統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。

県議団は、関係のある議員自らが旧統一協会との関係を明らかにし、癒着を断ち切るよう県議会議長に申し入れました。